

企画振興スタッフ
中山間フェア in い〜なん

資源環境科
畜産体験学習

地域研究スタッフ
人口推計説明会

鳥獣対策科
箱わな研修

中山間地域支援スタッフ
小さな拠点づくり研修会

県有林管理スタッフ
県民の森ふれあい講座

森林保護育成科
森林施業研究会

木材利用科
木工体験学習

写真で振り返る 中山間2017

センターでは、年間を通じて講演会やシンポジウム、研修会を行っています。HPでその様子を掲載していますので是非ご覧ください。研修の予約もHPから！

スノーシューで残雪の森を歩こう

EVENT 県民の森

2018年2月24日(土)
9:30~14:30

【集合】 県民の森 木工室 (9:30)
【参加費】 500円
【申込先】 島根県立ふるさと森林公園 学習展示館
☎0852-66-3586

昨年は参加者17名で
指谷山(標高967m)へ
登りました!



※スノーシューの貸出有り。詳しくは県民の森HPをご覧ください。

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。
平成30年になりました。昭和生まれの人にとっては、「昭和」の時代が長かっただけに、「平成」になったときには、初めて経験する改元であったことや、元号ではないですが大昔の「平安時代」を連想してしまい、少なからず違和感を覚えたことを思い出します。
あれから30年。「平成」という元号にもすっかりなじみましたが、来年予定されている今上天皇のご退位により「平成」の世も31年で幕を下ろすことになりました。
さて、当センターは、平成10年に発足して今年で20周年を迎えます。これからも名実ともに中山間地域の総合研究機関としての使命が一層果たせるよう、職員一丸となって努力して参りますので、変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。
所長 嶋田 慎司



Chu-San-Kan press

チュウサンカンプレス

2018
Winter
Vol.26



研究の森から中山間地域を応援します



【特集】
地域研究スタッフ
中山間地域が子育て世代に
選ばれています!

中山間地域支援スタッフ
ケーブルテレビ番組
『元気な田舎へGO!』

中山間地域が子育て世代に選ばれています！

総 人口は減少しているけど...?

国内では総人口が減少しています。しかし、2010年に20～39歳だった子育て世代の人口集団が5年後（25～44歳）の2015年にどう変化したかを比較分析したところ、農山村をはじめとした中山間地域においてU・Iターン者などを中心として、人口が増加している地区があることが分かりました。

中山間地域研究センターでは、中国地方5県知事会の共同研究において子育て世代（若者世代）が増加している自治体や地域の詳細な分析を進めています。

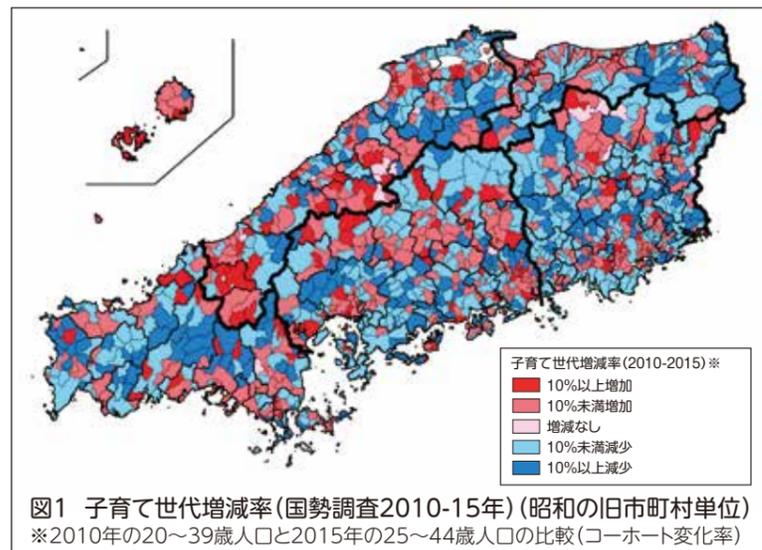
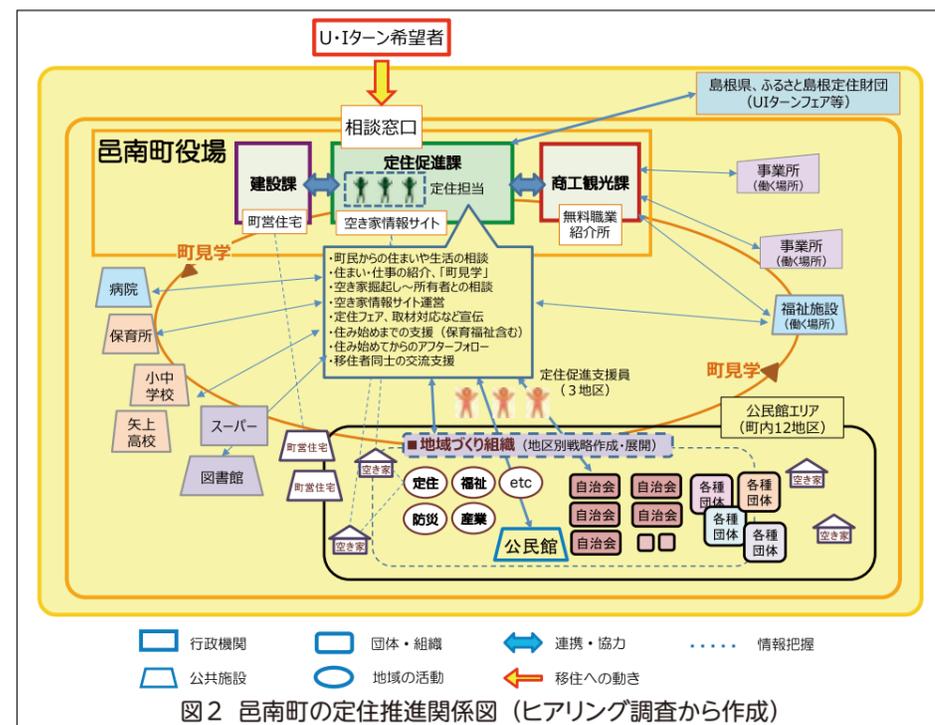


図1 子育て世代増減率(国勢調査2010-15年)(昭和の旧市町村単位)
※2010年の20～39歳人口と2015年の25～44歳人口の比較(コホート変化率)

増えている市町村の体制はどうなっているの？

子育て世代が増加している地域では、市町村が積極的に移住・定住施策や子育て施策を実施していることや、地域コミュニティにおいても受入体制が整備されているなどの特徴があることが分かりました。

一例として、邑南町では、町役場の職員が定住コーディネーターとして、住まい、仕事、生活条件等の情報提供を行うとともに、U・Iターン希望者に対しては、町見学の実施や移住後の定着に向けた支援も行っています。



お母さんや幼い子どもたちが集える場



U・Iターン移住者の交流会

今後の調査研究の進め方

子育て世代が、居住地を選択する際にどのような点を重視しているのか、また定着して地域で暮らし続けていくために必要な条件、生まれ育った子どもたちが将来地域に帰ってくるために重要な条件づくりにも焦点を当てて研究を進めていきます。

中国地方知事会中山間地域振興部会

中国地方(5県)の知事会では過疎化や高齢化の進行などの共通課題に対して、県境横断的に知恵の共有化や人材育成の共同事業を行っています。

ケーブルテレビ番組『元気な田舎へGO!』

番組紹介のホームページ <http://www.pref.shimane.lg.jp/admin/region/kikan/chusankan/shien/gennkinainakahego/>



島根県では、中山間地域に今後も安心して住み続けることができる日常生活を支える仕組みを考えていく「小さな拠点づくり」に取り組んでいます。

この小さな拠点づくりに向け、地域を盛り上げようと頑張っている元気な活動事例を取り上げ、その取り組み状況や地域づくりへの想いを紹介する現場密着型の番組です。

(企画・制作) 雲南市・飯南町事務組合
(協力) 中山間地域研究センター
(内容) 2017年7月より全9回シリーズ [各15分]
この番組は島根県ケーブルテレビ協会を通じて県内ケーブルテレビ全局へ配信されています。是非ご覧ください。

わっしょい!志々会



志々会が核となり笑顔と元気にあふれる地域

地域のサロン「陽サロ2号店」や「ささえさん」での買い物支援、独居老人宅などへの「声かけ訪問隊」の取組が特徴的で、子どもからお年寄りまで大変仲が良く活動的な地域です。

人間コミュニティー協議会



体験・交流活動を通じてにぎやかさが創出され女性の活躍の場に

四季を通じた体験型の交流事業に取り組まれており、年間約6,000人が利用することで外貨の獲得や地域内でお金が回る仕組みができ、地域住民の生きがいにもつながっています。

この番組は、地域研究スタッフの東がご案内しています。ここでは、これまで7～11月に放送した5地区の取組を紹介しています。

海潮地区振興会



山王寺「冒険の森てんば」の自然環境を生かした保育活動

子育て支援活動に積極的に取り組まれてきたことが、若者の定住や「冒険の森てんば」など新たな活動の広がりにつながってきています。

頓原地区



「高齢者長生き体操」を送迎と買い物を組み合わせて実施

高齢者の健康づくりのための「高齢者長生き体操」や憩いの場として「はない茶屋」が開かれ、地域の皆さんの生きがいや元気の源となっています。

三刀屋地区まちづくり協議会



雲南市中学生の職場体験の受け入れなど世代間交流

多世代交流サロン「ほほ笑み」を核に、交流の場づくり、健康づくり、書店再生に取り組み、地域の若者(中学生等)を巻き込んだ世代間の交流を図っています。